

男女がよきパートナーとして共に生きるために

討論会：“いろいろな人が暮らしやすいまちづくり”



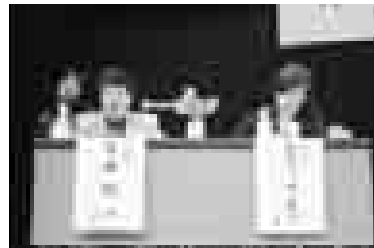
家庭・職場・地域での男女共同参画の課題について、平成18年度啓発イベントで討論会を開催しました。地元から5人のパネラー、後藤明子さんの司会進行、基調講演のたもつゆかりさんを助言者として会場も一緒になって話し合いました。ご意見の一部を紹介します。



男女共同参画は、現在だけを捉えて話しはできない。習慣や伝統があり、男性も女性も一緒になって話し合い、何が障害になっているかを探し出さなくてはいけない。子供も高齢者も暮らしやすい具体的なものを地元から作りたいと考えます。(弦巻一男さん)



山内町女性ネットワークで、子育て支援の活動をしてきました。少子化で兄弟のつながりがなく、お母さん方もまた、意欲を持って子育てできるように、地元子供が集まる場所がほしいと思います。また、自分自身、地域の力として、そこでボランティアなどの活動ができればと思っています。(山北貴美子さん)



未来を担う子供達。それを育てる私達には大きな責任があります。皆がそれぞれの立場を思いやることができる地域づくりの大切さを感じます。「がばいばあちゃん」のように、金はないが心は豊か。ユーモアを持った生き方を個々がすれば、結果的に暮らしやすい町になると思います。(笠原美喜さん)

北方南まちづくりでは福祉を担当しています。介護の必要な方にやさしいまちづくりとして、車イスの方と一緒に買い物や、飲食店に行く事を実践してみました。また、お店に手すりをつける等の支援もやっています。(田代良司さん)



青年会議所では会員の中に3名の女性がおおり、一緒に活動しています。武雄市は合併して、より良く変わっていかなくてはいけない。企業・地域の中に男女共同参画の発想で話しを持ちかけ、未来の武雄につなげたいと思います。(末藤鹿雄さん)



新しい武雄市がスタートして約一年経ちました。だれもが暮らしやすい方向に向かっていくよう、私達市民一人ひとりが力を結集しなければなりません。以前知事にお会いした時、「女の人に頼みに行ったら断らないで下さい。」とおっしゃった。女性自身も一歩を踏み出しましょう。(後藤明子さん)



働く権利は男女平等です。女性が男性と異なって子供を産む可能性のある性だという事からのスタートであれば、妊娠出産が「働く」という場で不利になるような社会になっているのはおかしいと考えます。女性も男性も性別に関らず、一人の個人として、多様な生き方ができる社会を作っていきましょう。どの地域に行ってみても、意識が変わったようでありながら中々変わっていません。本気で変える気があるのか、何のために私達の地域に女性役員や女性議員が必要であるのか、きちんと議論して実践して行かなければなりません。(たもつゆかりさん)



～ロビーでは農産品・手づくり品即売会実施～